



強力吸引車

クリーンキューム®

高真空 W201Cシリーズ

高真空 W414Cシリーズ

高真空 W700Cシリーズ



環境にやさしいクリーン性能

新集塵方式

低騒音型

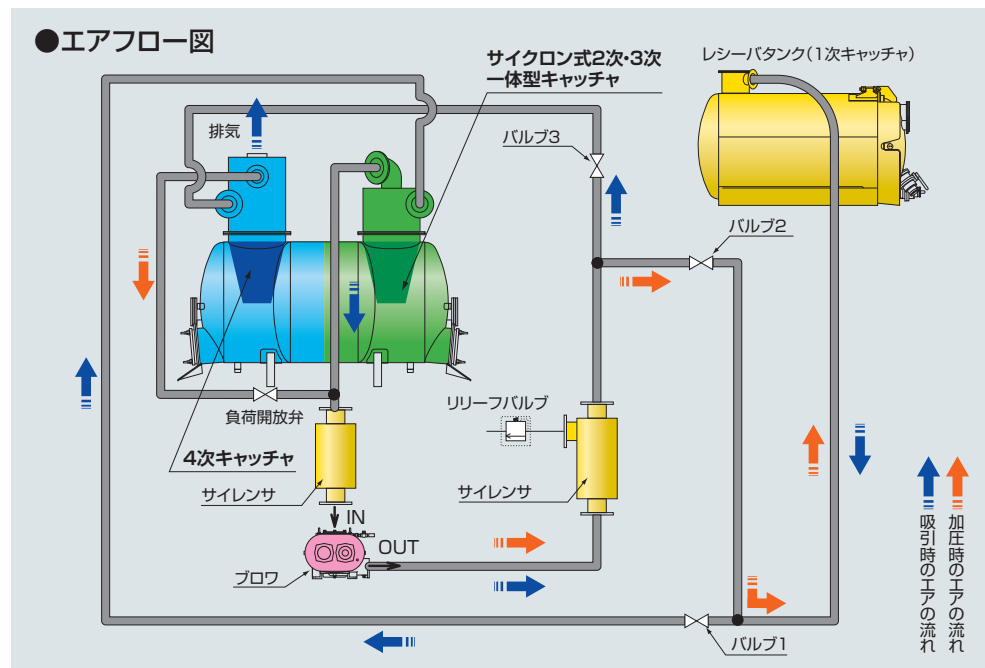


※本カタログに掲載の車両写真にはオプション仕様が含まれています。

集塵性能・吸引能力を高め、さらに低騒音を兼ね備えた“新型クリーンキューム®”

W201C・W414Cシリーズ

新設計の「サイクロン式キャッチャ」採用により、集塵性能が向上!!



新設計 サイクロン式キャッチャ



●2次・3次一体型キャッチャ



●4次キャッチャ

注) W700Cシリーズは2次、3次、4次キャッチャ分離型となります。

1 すぐれた集塵力

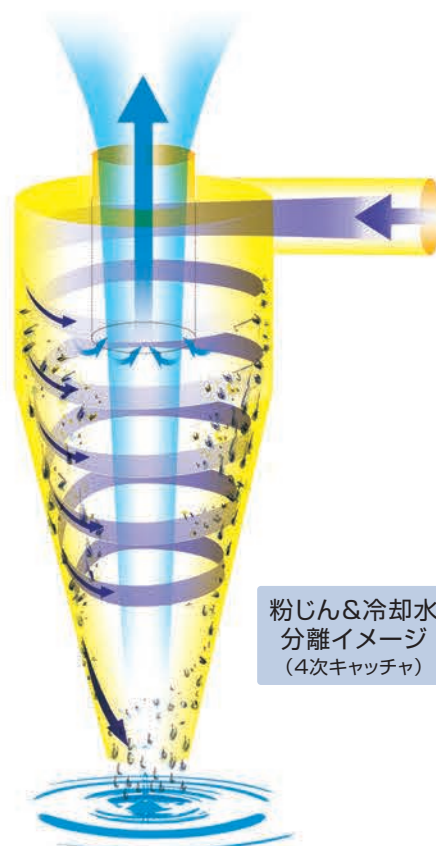
特殊サイクロン構造を採用した新設計キャッチャにより、粉じんの集塵効率および冷却水の回収率が向上。

2 きれいな排気

新設計のサイクロン式4次キャッチャにより、排気飛散水とダストの放出を極限まで低減。

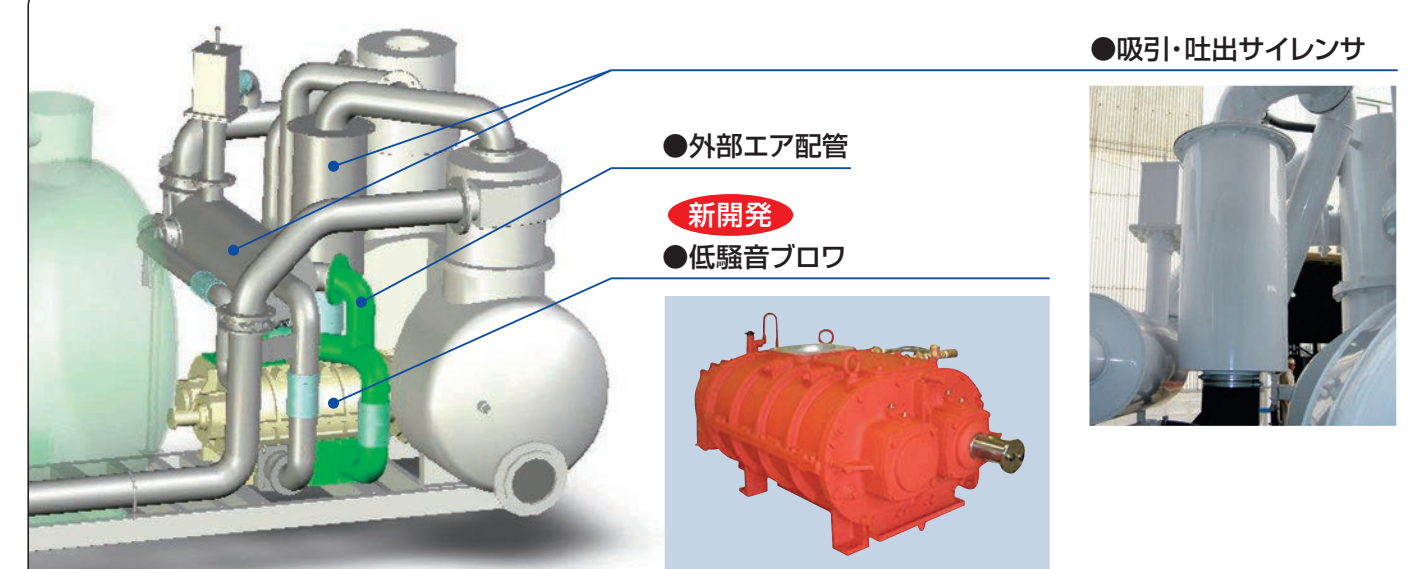
3 連続運転時間の向上

新設計のサイクロン式4次キャッチャの遠心分離効果により、ブロフ冷却水の減水量が低減し、連続運転時間が2.5倍に向上(当社比)。



W414Cシリーズ

「低騒音ブロフの開発」+「外部エア配管の最適レイアウト」により 大幅な作業騒音の低減&高い吸引力を実現!!



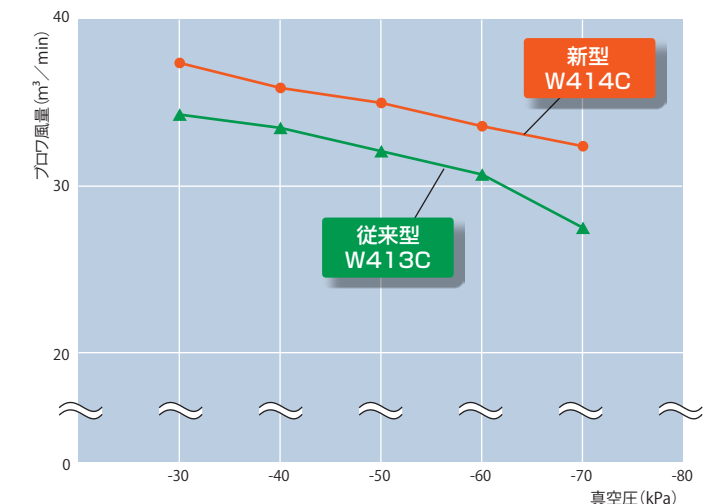
業界トップレベルの 静粛性!! (しずかな作業)

吸引時騒音 約 **-3dB (A)** の低減 (従来型W413Cとの比較)

クラストップレベルの 吸引能力 (パワフルな吸引)

ブロフ風量 約 **8% アップ**
(従来型W413Cとの比較)

- ➡ さらに深く、高く、遠い現場での吸引作業を可能に!!
- ➡ 作業時間の短縮で効率UP!!

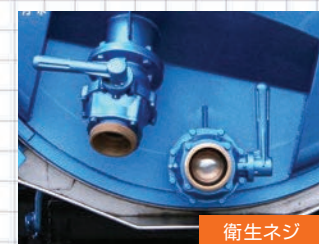
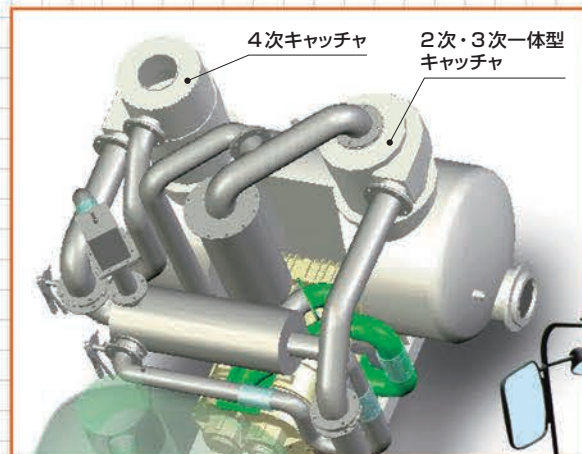


新型W414Cと従来型W413Cのブロフ風量比較

(注1) 真空圧・ブロフ風量は、ブロフ吸引口部での数値です。
(注2) ブロフ最高回転数での実測結果ですので、吸引条件により異なります。

高い作業性を実現するクリーンキューム®の 充実した標準装備

■新集塵方式キャッチャ (W201C・W414Cシリーズ)



1 吸引・吐出ボールバルブ先端金具

衛生ネジオスまたはカムロックオスを選択可能です。
※衛生ネジからカムロックへの媒介金具もオプション設定しています。



2 大型サイトフロー



3 集中操作パネル



4 ブロウ集中グリス給脂



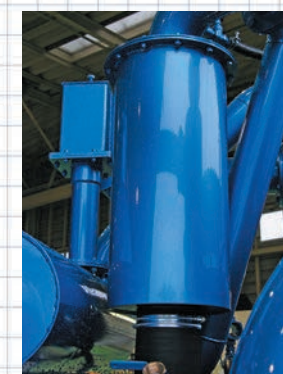
5 点検容易なフロート



6 タンクマンホール



7 車両周囲ホースハンガ



8 サイレンサ※1

※1 設定対象：
W201Cシリーズ (4トン車級以上)、
W414Cシリーズ (全車格)

コンパクトな車両で 現場での走行性能が向上



タンク容量“業界最大級”

タンク胴板にステンレス鋼板を採用

錆＆摩耗に強い テールゲートカバー

ステンレス鋼板を採用

※ミガキ仕様はオプションとなります。

▲写真の車両にはオプション仕様が含まれています。

作業能率をアップする アタッチメントツール



▲吸引・排出ホース



▲作業灯



▲パネル灯

新集塵方式クリーンキューム
用途に応じた幅広いバリエーション

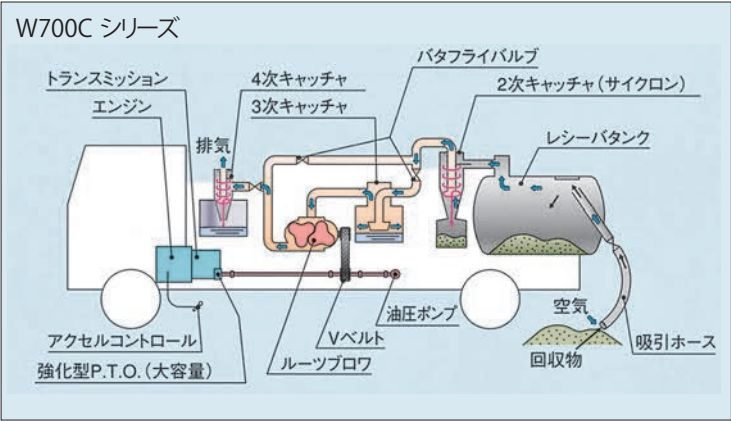
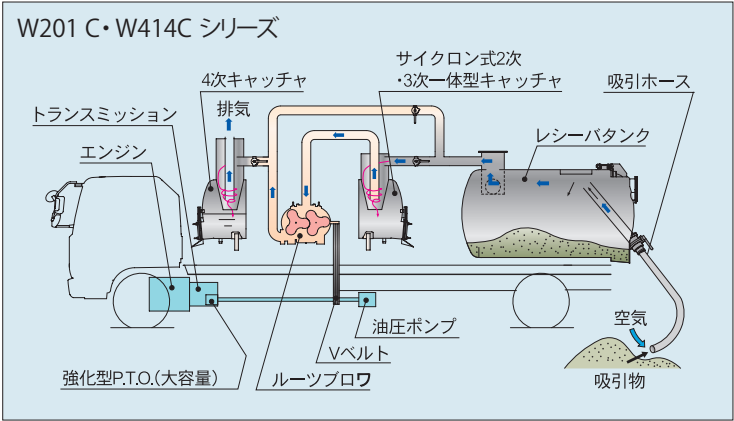


▲写真はGV11-W700C

■主要諸元

車 格		3トン車級		4トン車級		5.5トン車級(中 型免許対応車)		中型増トン 8トン車級		10トン車級		
型 式		GV3-W201C	GV4-W201C	GV4-W414C	GV5-W201C	GV5-W414C	GV8-W201C	GV8-W414C	GV11-W201C	GV11-W414C	GV11-W700C	
適用シャシ		3.5	4.5		5. 5		8		GVW22			
寸法・重量	全長(mm) ^{※1}	5,650	6,470		6,9 80		8,450		10,150		10,040	
	全幅(mm) ^{※1}	2,100	2,200					2,300		2,490		
	全高(mm) ^{※1}	2,500	2,600		2,8 00		2,850		3,270		3,400	
	車両重量(kg) ^{※1}	4,850	5,200	5,350	6,500	6,700	7,500	7,700	12,300	12,500	13,600	
	乗員(名)	3	2									
	車両総重量(kg) ^{※1}	7,000	7,980		10, 500		13,500		21,910			
性 能	レシーバタンク実容量(m³) ^{※2}	2.5	3.2	3.0	3.9	3.8	5.9	5.7	10.5	10.2	9.1	
	ブロウ型式	湿式・2段ルーツ式				湿式・2段ルーツ式						
	理論風量	24m³/min		45m³/min	24m³/min	45m³/min	24m³/min	45m³/min	24m³/min	45m³/min	75m³/min	
	吸引圧力	-93kPa {-700mmHg}										
	加圧圧力	59kPa {0.6kgf/cm²}										
吸 引 能 力 ^{※3}	ドライ砂	約5トン／時		約12トン／時	約5トン／時	約12トン／時	約5トン／時	約12トン／時	約5トン／時	約12トン／時	約20トン／時	
	汚 泥	約15トン／時		約40トン／時	約15トン／時	約40トン／時	約15トン／時	約40トン／時	約15トン／時	約40トン／時	約70トン／時	
除じんユニット	2次・3次一体型キャッチャ (W700Cシリーズは分離型)	乾式キャッチャ										
	4次キャッチャ	湿式キャッチャ										
安全弁ユニット	真空安全弁	無し										
	加圧安全弁	有り										
サイレンサ	吸引サイレンサ	無し	有り								無し	
	吐出サイレンサ	有り										
駆動PTO仕様		フルパワーPTO、 必要トルク294N・m {30kgf・m}以上	標準T/MサイドPTO、 必要トルク294N・m {30kgf・m}以上	大容量T/MサイドPTO、 必要トルク490N・m {50kgf・m}以上	標準T/MサイドPTO、 必要トルク294N・m {30kgf・m}以上	大容量T/MサイドPTO、 必要トルク490N・m {50kgf・m}以上	標準T/MサイドPTO、 必要トルク294N・m {30kgf・m}以上	大容量T/MサイドPTO、 必要トルク490N・m {50kgf・m}以上	標準T/MサイドPTO、 必要トルク294N・m {30kgf・m}以上	大容量T/MサイドPTO、 必要トルク490N・m {50kgf・m}以上	大容量T/MサイドPTO、 必要トルク882N・m {90kgf・m}以上	

■作動原理図



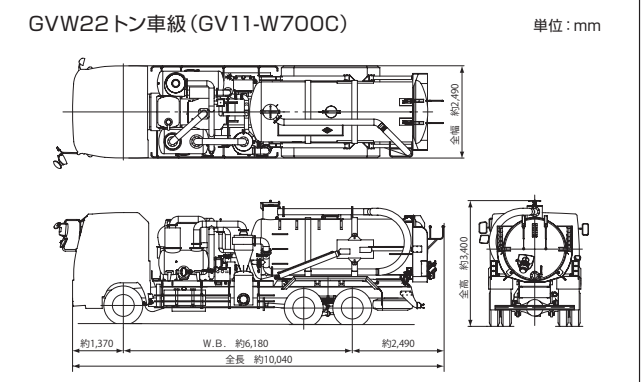
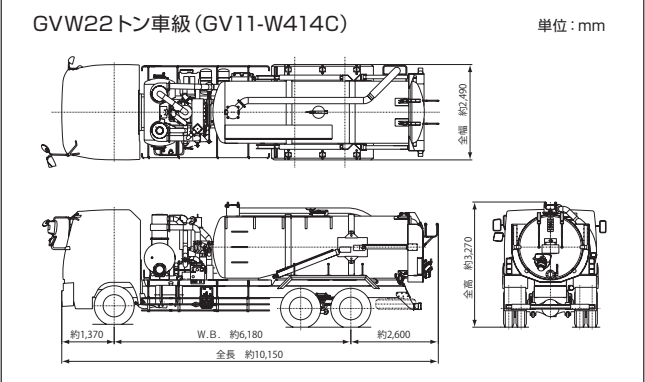
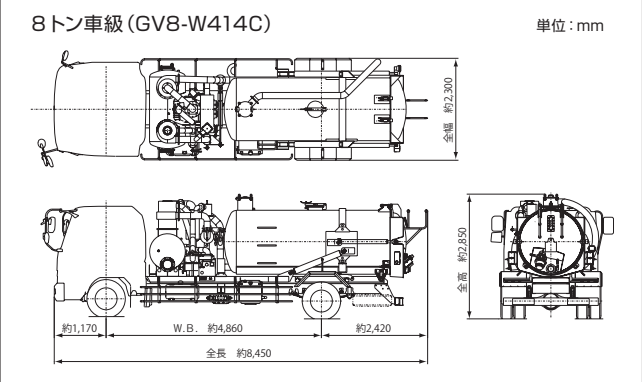
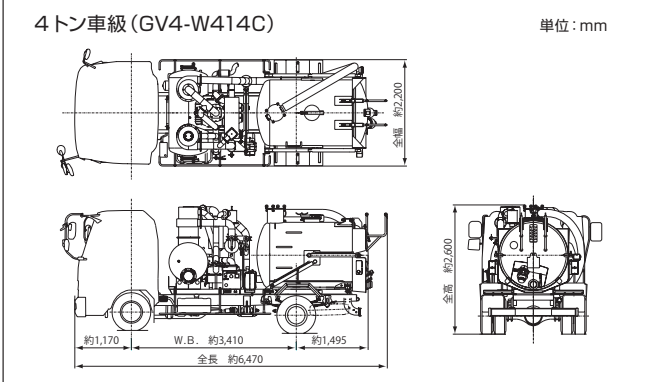
※1 参考値であり、シャシや仕様によって異なることがあります。 ※2 レシーバタンク実容量はシャシや仕様によって異なることがあります。
※3 吸引能力は社内テスト値であり、吸引条件により異なります。 ※4 GVW25トン車級にも対応します。詳細については各支店・営業所へお問い合わせください。
● { } 内は参考値です。

■用途例

- ① 下水管、マンホールの汚泥回収
- ② 道路側溝の汚泥回収
- ③ ピット汚泥の回収清掃
- ④ 河川工事(放水路沈砂回収)
- ⑤ 製鉄所、プラントの汚泥回収
- 浄水場の泥砂回収
- 一般河川の浚渫作業
- ベントナイト汚泥の吸引・排出
- 活性炭、ろ材の入替え工事



■参考外観図



お客様のニーズにお応えするオプションの数々。



■洗浄装置(電動ポンプ)
(水ポンプ、水タンク、ホース10m、ノズル付き)



■吸引ホース 補助アーム
吸引ホースなどを支持して、作業負担を軽減できます。



■ステンレス仕様
各部のステンレス化が可能です。



■水タンク
ブロワ冷却用循環水の容量アップができ、より長い連続作業が可能です。(100L、200L(大型用))



■サイクロン
増設により安心して粉体の吸引回収ができます。



■高圧洗浄装置
ジェットによる洗浄作業が行えます。



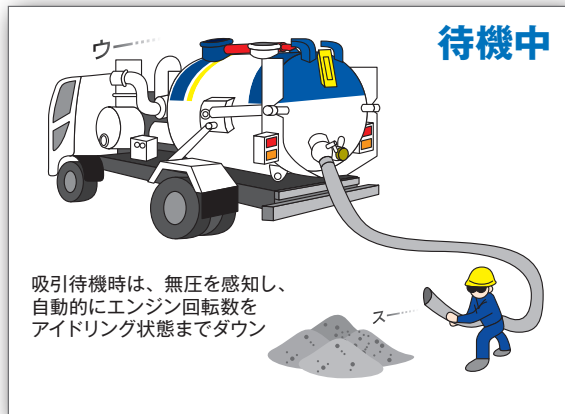
■コンセント(DC24V)
脱着式作業灯などの接続に便利です。



■樋型ホースハンガ
ホースの積み降ろしがラクに行えます。

「アクセルスローダウン装置」新規オプション設定!

吸引作業時負荷の増減に応じて、エンジン回転数を自動調整します。吸引待機中の余分な燃料消費を抑え、作業時騒音の低減にもつながります。



* この他にも数多くのオプションを取り揃えております。

* オプションの種類(重量)により、レシーバタンク容量が小さくなる場合があります。各支店・営業所へご相談ください。

●本カタログの仕様及び寸法は予告なく変更することがあります。



安全に関するご注意

●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。



東邦車輦株式会社

このカタログは再生紙を使用しています。

〒230-0003 横浜市鶴見区尻手3丁目2番43号 TEL 045-575-9901

北海道支店(札幌) TEL 011-633-7101 (帯広) TEL 0155-22-9198
東北支店(仙台) TEL 022-782-5040 (盛岡) TEL 019-604-3200
信越営業所(新潟) TEL 025-283-6571 (長野) TEL 026-222-7052
北関東支店(群馬) TEL 0276-89-1551 (茨城) TEL 0298-22-5569
関東支店(東京) TEL 03-3843-3351
神奈川営業所(横浜) TEL 045-784-3126 (静岡) TEL 054-281-0970

近畿支店(大阪) TEL 06-6312-2109
中部支店(名古屋) TEL 052-218-5123 (金沢) TEL 076-223-1191
中国営業所(広島) TEL 082-890-2882 (岡山) TEL 086-275-5552
四国営業所(松山) TEL 089-965-4580
九州支店(福岡) TEL 092-441-1951
南九州営業所(鹿児島) TEL 099-252-2070